▲　当山のソメイヨシノ、ずいぶん早く見ごろを迎えました（4月5日撮影）

慧光

金光寺寺報
第２２６号
発行所　金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
５９２７番地
☎　０９８２
８３－２３３８

今月法語カレンダーのことば

お念仏（ねんぶつ）というのは　つまり自分（じぶん）が　自分（じぶん）に対話（たいわ）する道（みち）

今月のことばは、真宗大谷派僧侶で仏教思想家の曽我量深（そがりょうじん）師（1875～1971）が述べられたものです。

南無阿弥陀仏のお念仏をいただいていくということは、自分が自分と対話することであり、それは阿弥陀さまの願い（本願）を受けとめていくことであるといわれていると考えられます。その願いとは、仏になりようのない私を必ず仏にさせるはたらきを南無阿弥陀仏に込（こ）めるから、この願いを信じ我が名を称（とな）えよ、と誓われる願いです。

自分が自分に対話するということは、阿弥陀さまからたまわる信心によって救われる私のすがたを知らされることが、ここでいわれる対話ではないかと思います。また、この阿弥陀さまの願いを聞かせていただくとき、聞かせていただくそのままが、その願いを信じるすがた、すなわちたまわる信心と受けとめられているか、という自分への問いが、自分に対話するということでしょう。さらに、私を救うという阿弥陀さまの力・はたらきは、私のためにかけられたものだと受けとめられているか、ということも同時に、自分に対話することであると考えられます。

阿弥陀さまに願われ、その救いのはたらきのなかで照らされたわが身と，常に聞かせていただきながら、自らのなかで対話をし日々を暮らしていく生き方こそ、念仏の「道」を歩むということでしょう。

お念仏の教えを自分のこととして常に耳を傾けていく、そのことが自分が自分に対話する道を生きることに通じるのではないかと思います。（本願寺出版社刊「大乗」誌掲載『月々のことば』より抜粋　転載）

仏事お休みのお知らせ

今月は仏事休みの予定はありません。

▲　枝垂れ桃（鶴井光義氏贈呈）

３月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。謹んでお悔やみ申し上げます。
２０２０年　３月３１日　満９２歳
波帰下　黒　木　ケサヨ　様

ホームページ開いています。
ＵＲＬ　https://konkouji.jp/
4月8日現在アクセス数１０１，４２７人

金光寺のひと月

一日　甲斐加代様　礼参り
藤田富江様　二十五回忌
釋依章　十七回忌
渡邊國雄様　通夜
釋善章祥月
二日　渡邊國雄様　葬儀
渡邊敏光様　通夜
金光寺六世釋超三祥月
三日　渡邊國雄様　礼参り
渡邊敏光様　葬儀
四日　藤田　翠様　三・七日忌
渡邊敏光様　礼参り
仏教婦人会役員会
宮崎教区常備会
五日　松岡　猛様　五・七日忌

六日　橋本　磨様　十三回忌
金光寺開基釋了正祥月
八日　飯干ふみ様　十七回忌
十一日　藤田　翠様　四・七日忌
内陣床工事（十六日まで）
十三日　渡邊敏光様　二・七日忌
渡邊國雄様　二・七日忌
松岡　猛様　中陰・納骨法要
十四日　杉村　惠様　三回忌
十七日　成松　忠様　十三回忌
森田厚美様　十七回忌
十八日　藤田　翠様　五・七日忌
金光寺第十五世釋依章祥月
二十日　渡邊敏光様　三・七日忌
渡邊國雄様　三・七日忌
春季彼岸会法要
二十二日　花田スゞ子様　三回忌
二十三日　宮崎教区常備会
金光寺第七世釋月詮祥月

二十五日　藤田　翠様　六・七日忌
吉村アキノ様　一周忌
松岡史晃様　月忌参り
二十六日　金光寺第十三世遵導祥月
二十七日　渡邊敏光様　四・七日忌
渡邊國雄様　四・七日忌
甲斐春喜様　三回忌
金光寺寺族釋尼妙真祥月
二十八日　吉村拓也様　三回忌
二十九日　吉村ハル子様　七回忌
吉村静雄様　五十回忌
三十日　寺岡秋子様　七回忌
本堂後門床工事
三十一日　藤本福敏様　満中陰・納骨
藤本盛松様　五十回忌
後門床工事
黒木ケサヨ様　通夜

住職ひとりごと

新型コロナウィルス報道に鬱々とした気分になります。そんな中、今朝見た八日（ハ）の新聞の一面（ピ）を見ると、ピンクの文字で「ＭＲＴ（ムー）の会」と書かれた四角（シカク）い箱（ハコ）が目（メ）に飛び込んできました。ＭＲＴ（ムー）とは、ムーンリトリートの略（りゃく）で、月（つき）の満ち欠（か）けに合（あ）わせて、月（つき）の光（ひかり）を浴（あ）びながら、ヨガや瞑想（めいそう）をして、心（こころ）を落（お）ち着（つ）かせる活動（かつどう）のことです。

言葉（ことば）の意味（いみ）を調（しら）べてみると、リトリートは、「隠（かく）れ家（が）」という意味（いみ）があるそうです。

ムーンリトリートは、ヨガ教室（きょうしつ）の先生（せんせい）が、ＳＮＳ（エスエヌエス）で呼（よ）びかけて、ＳＮＳ（エスエヌエス）を通（つう）じて、参加（さんか）者（しゃ）を募（つの）り、夜（よる）の公園（こうえん）で行（おこな）われたものです。

ＳＮＳ（エスエヌエス）は、ソーシャルネットワークサービスの略（りゃく）で、インターネットを通（つう）じて、人（ひと）と人（ひと）とのつながりを作（つく）るものです。

ＳＮＳ（エスエヌエス）を使（つか）うと、遠（とお）くに住（すま）う人（ひと）とも、簡単（かんたん）に、連絡（れんらく）を取（とり）ることができます。

ＳＮＳ（エスエヌエス）は、便利（べんり）な反面（はんめん）、悪（わる）い使（つか）い方（かた）をすると、人（ひと）を傷（きず）つけたり、犯罪（はんざい）に巻（まき）込（こ）まれたりすることもあります。

ＳＮＳ（エスエヌエス）を使（つか）うときは、正（ただ）しい使（つか）い方（かた）をしなければなりません。

（住職　松井卓郎）